

vol.18

START UP Company

今月の注目スタートアップ

ここで紹介するスタートアップ企業は、ふくおかフィナンシャルグループの投資会社 FFGベンチャービジネスパートナーズが運営するベンチャーファンドが投資しています。



在留資格上働ける外国人を見つけられる

1000パターンを超える在留資格から自動でフィルター

#外国人を安心して
採用できるプラットフォーム



外国人が自分の
在留資格を選択

自動でマッチング



雇用企業が欲しい
在留資格を選択

自社紹介

私たち株式会社エルティービーは「TOKYO JOB」という外国人に特化した採用プラットフォームを運営しています。

2013年から一貫して外国人に特化し、人材紹介を行ってきました。外国人採用・雇用にまつわるナレッジを活かし、IT化したものが2021年にリリースした外国人採用プラットフォーム「TOKYO JOB」です。

サービス紹介

少子高齢化が現実的な問題である今、外国人材に注目が集まっています。特に地方で顕著で、介護、建設、宿泊、飲食業は常に有効求人倍率が2倍以上の逼迫した状態です。

一方で、外国人を雇用しようとしても雇用側と外国人側

との間にミスマッチがあり、なかなか雇用まで辿り着かない現状があります。

求人企業は「地元の新間に掲載」して人材を集めようとはしますが、外国人の80%以上は「SNSを通して仕事」を探します。

日本に住む外国人の90%は漢字圏以外の出身で「漢字が読めない」にも関わらず、求人企業は「漢字を使って求人票を掲載」します。

求人企業は「外国人」と面接をしたとしても、「不法就労などわからないことがある」と90%の企業は採用しないと答えています。一方外国人の方は、「どんな仕事か自分にとって働けるのか法律上わからない」と答えます。

私たちはこのミスマッチをなくし、求人企業に安心して雇用してもらえるよう、外国人の「在留資格」に自動フィルターを設定し、「日本語レベル」を可視化する仕組みにしました。

「在留資格」とは、外国人がどんな仕事をしていいのか入管法で定められている「基準」になります。例えば「農業分野で働くことができる在留資格を有する外国人」は「部品製造工場」で働いてはいけません。在留資格は1,000種類以上あります。なかなか覚えられる数ではないことはご理解いただけるのではないのでしょうか。

「日本語レベル」の可視化では、「読む」「書く」

「聞く」「話す」の4つのポイントに分けて、求人企業が面接に来る前に、客観的に判断できる尺度を提供しています。

今後の展望

求人企業が採用後も安心して雇用し続けられる仕組みを提供していく予定です。外国人が身分証として持ち歩く「在留カード」に格納されているICチップの読み取り機能により、偽造カードの検知や、入管提出書類の自動化等の機能を実装していきます。



会社概要

株式会社 エルティービー

代表取締役 鈴木 晴美

所在地 東京都新宿区西新宿7-18-18
新宿税理士ビル別館313

お問い合わせ先 info@livetobusiness.co.jp

ホームページ https://livetobusiness.co.jp/

